

飛鳥資料館冬期企画展「飛鳥の考古学2011」

飛鳥資料館では毎年新春に冬期企画展「飛鳥の考古学」と題しまして、飛鳥・藤原地域の発掘成果の速報展を各調査機関と連携しておこなってまいりました。2006年より続けてきました本展も、おかげさまで今年で無事6回目を迎えることができました。今年の「飛鳥の考古学2011」では、例年どおりの各調査機関の速報展の成果だけではなく、一区切りがついたものについては、これまでの成果と合わせて展示します。

また、2011年春には奥明日香の棚田が奈良県で初めて重要文化的景観に選定され、本年は、奥明日香にとっても重要な年となりました。この奥明日香の棚田の文化的景観についてもわかりやすく本展でもとりあげてみました。

例年とは違う「飛鳥の考古学」を新春の飛鳥資料館では是非お楽しみください。（飛鳥資料館 成田 聖）

平城宮跡資料館 ロビー展示「文化財レスキュー事業についての紹介」

9月末から資料館のロビーで、文化財レスキュー事業に関する展示をおこなっています。3月11日におきた東日本大震災で、文化財も甚大な被害を受けました。そのため、各関係機関が連携し、文化財レスキュー事業を立ち上げました。

今回は、奈良文化財研究所がレスキュー事業でどのように活動したかを取り上げました。9月までに実施した場所や内容、レスキューの工程などを、写真や図をまじえて解説しています。



ロビー展示のようす

この展示をご覧いただき、活動にご理解、ご支援いただけましたら幸いです。（企画調整部 森先 奈々子）

■ お知らせ

飛鳥資料館 冬期企画展

2012年1月20日(金)～2月26日(日)

「飛鳥の考古学2011」

平城宮跡資料館 春期特別展

2012年3月～5月（予定）

「発掘速報展2011」

■ 記 録

埋蔵文化財担当者専門研修

○保存科学Ⅰ（金属製遺物）課程

2011年10月4日～13日 7名

○保存科学Ⅱ（木製遺物）課程

2011年10月13日～21日 6名

○遺跡測量課程

2011年10月26日～11月2日 4名

○遺跡情報記録調査課程

2011年11月14日～18日 8名

○文化財写真課程

2011年11月28日～12月8日 12名

○報告書作成課程

2011年12月8日～16日 11名

第109回公開講演会

2011年10月15日 141名

特別公開講演会（東京会場）

2011年12月3日 250名

現地説明会

○飛鳥藤原第169次発掘調査（藤原宮朝堂院朝庭）

2011年11月5日 620名

○平城第486次発掘調査

（平城京跡左京三条一坊一坪）

2011年11月19日 200名

飛鳥資料館 秋期特別展

2011年10月14日～11月27日

「飛鳥遺珍－残された至宝たち－」 10,454名

平城宮跡資料館 秋期特別展

2011年10月18日～11月27日

「地下の正倉院展－コトバと木簡」 20,120名

■ 最近の本

○奈良文化財研究所特別講演会収録集

『古代はいま』

クバプロ 2011年12月

○『官衛・集落と鉄』

クバプロ 2011年12月

○芝 康次郎 『九州における細石刃石器群の研究』

六一書房 2011年12月

編集 「奈文研ニュース」編集委員会

発行 奈良文化財研究所 <http://www.nabunken.go.jp/>

Eメール jimu@nabunken.go.jp

発行年月 2011年12月